

「交通心理学研究」執筆と投稿の手引き

I 論述の原則

1. 本文は和文または英文で記載する。
2. 本文が和文の場合は題目と著者名は日本語と英語の両方を記載する。
3. 記述は読みやすく、心理学の学術用語を的確に使用し、現代仮名づかい、当用漢字、算用数字を用いる。
4. 和文の句読点は、コンマ「,」とマル「。」、英文の場合は、コンマ「,」とピリオド「.」を用いる。
5. 投稿原稿はA4用紙にワープロ横書きで記載する。
6. 本誌の本文は横24文字、縦42行の左右2段組に刷りあがる。投稿原稿は、その形式をそろえる必要はないが、刷りあがりのページ数を数えやすいような書式で作成することが望ましい。
7. 章節は、中央大見出しを章とし、節は番号を振った見出しとし、次に横小見出しにする。その順に見出しの大きさを用いる。
2. 方法は、実験や調査の追試が可能な十分な情報を盛り込む。
3. 統計の記述は、科学的な結論を導く根拠となりうるものとし、近年刊行された「交通心理学研究」に準じるものとする。
4. 図表および論述の重複を避け、簡潔にして十分な記載を心がける。
5. 図は軸の単位が明瞭になるように描き、平均値を示すときは標準偏差も図に示すことが望ましい。
6. 図はFig. 1、Fig. 2…のように通し番号を振り、題をつける。挿入位置は本文中に指定する。写真も図として扱う。
7. 図は白黒仕上がりである。著者がカラー印刷を希望する場合は相応の実費を著者負担とし、カラー印刷の必要性は編集委員会で審議する。
8. 表はTable1、Table2…のように通し番号を振り、題をつける。挿入位置は本文中に指定する。

II 原稿の作成

II-1 表紙の作成

1. 原稿（展望・研究論文・報告）の第1ページ（表紙）には、題目、著者名、所属機関名を記載し、その下にそれぞれの英語表記を書く。続けて、英文抄録、英語のキーワードを記し、本文は記載しない。
2. 英語題目では、各単語の頭の文字を前置詞・冠詞類以外は大文字にする。
3. 英文抄録は200語以内とする。
4. キーワードは5語程度を英語で記し、原則として小文字を使用する。

II-2 本文・図表の記述

1. 原稿の第2ページから、本文を記載する。

II-3 文献

1. 文献は本文に続けて記載する。
2. 各文献に番号はつけない。
3. 引用の仕方と文献の記載方法は日本心理学会の「2005年版執筆・投稿の手引き（修正版）」に倣うこと。手引きは、日本心理学会のホームページ <http://www.psych.or.jp/> の「刊行物のご案内」からダウンロードできる。ただし、そこで規定する日本語文献の英語表記は必要としない。
4. 各文献は行の先頭から記載し、2行目以降は1字分下げて記載する。

II-4 英文抄録の和訳

1. 原稿の末尾に、表紙に記載した英文抄録の和訳を添付する。

II-5 謝辞・付記

1. 必要に応じて、謝辞、助成を受けた研究費などに関する付記を記載することができる。

III 原稿の送付

投稿は、以下の指示に従って作成したPDFファイルを、編集委員長宛に電子メール（末尾に掲載）で送付する。なお、投稿の確認ができない場合は、末尾に示す投稿確認先に問い合わせること。

① 図表、英文抄録の和訳、謝辞・付記は、1点ずつ別のページに記載する。

② 表紙、本文（文献）、図表、英文抄録の和訳、謝辞・付記の順にページ番号を付して一括した論文原稿ファイル

③ 上記②から著者名（所属機関名）、謝辞・付記などの投稿者に関する情報を除外した論文原稿ファイル

④ 投稿論文に密接に関連する既刊の論文、引用論文の中に広く公刊されていない論文のファイル（任意）

⑤ 投稿添付票ファイル（HPからダウンロードのこと）

⑥ 投稿チェックリストファイル（HPからダウンロードのこと）

論文投稿先： 交通心理学研究編集委員長

E-mail chief.editor@jatp-web.jp

投稿確認先： 日本交通心理学会事務局

〒160-00047 東京都新宿区四谷4-32-8

YKBサニービル

E-mail staff@jatp-web.jp

電話 03-3353-0737

FAX 03-3351-5120